

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第136号

令和4年5月分交付金精算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年5月分の交付金概算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

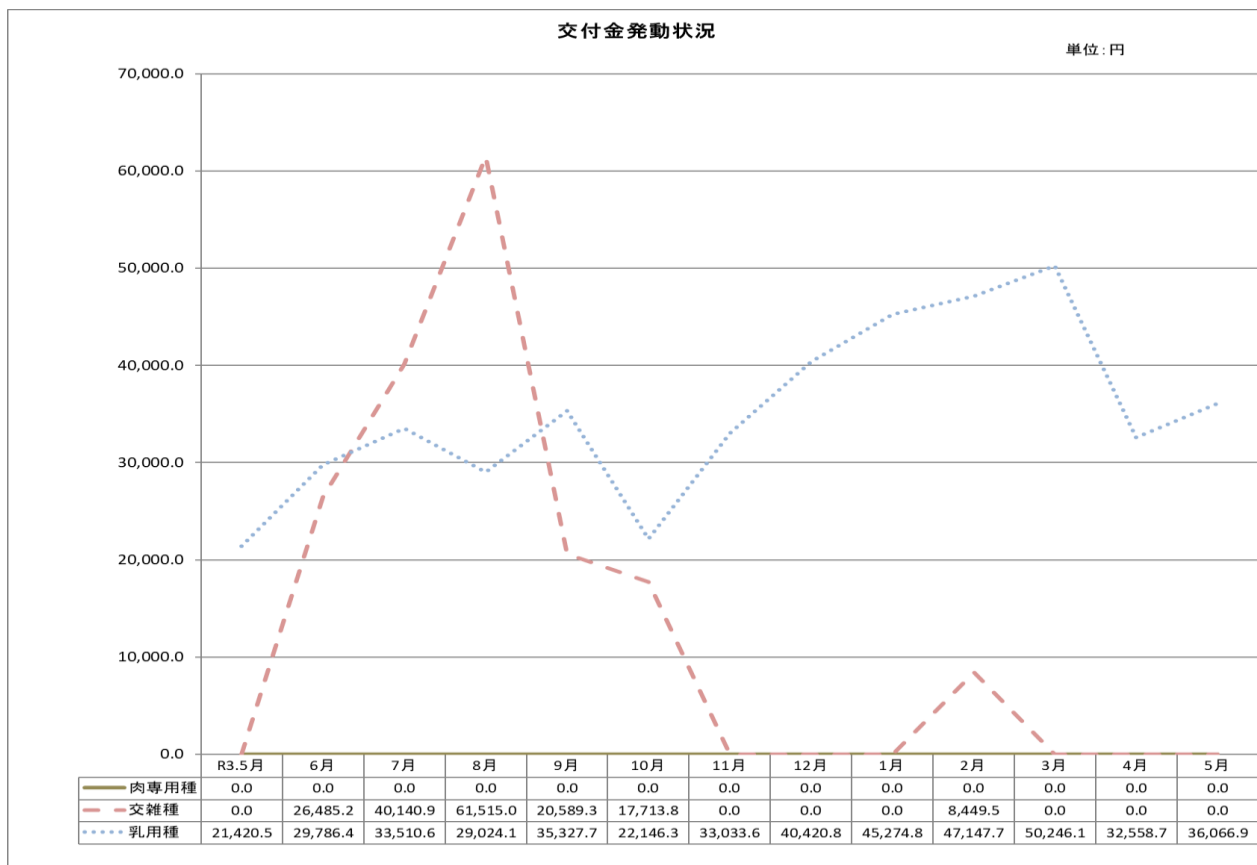
また、5月分の公表された交付金単価は、乳用種については36,066.9円の交付となります。肉専用種、交雑種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年5月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

トピックス

●令和4年5月分の単価(概算払)が公表されました。

●5月分の交付金交付は、7月27日(水)を予定しております。



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oaita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html
補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

6月の牛枝肉価格は、ウクライナ情勢の悪化、円安進行、相次ぐ生活必需品の値上げで末端不振が顕著となり、5月に続き軟調だった。外食はコロナが収束を見せたことで比較的良好ではあるものの、世界的にインフレの懸念が強まる中、7月以降の牛枝肉価格がどこまで回復できるのか懐疑的な見方が多い。

5月の牛肉価格は、和牛は去勢A5が前月比100円安の2,612円（前年同月比71円安）、同A4は124円安の2,368円（同41円安）、同A3は125円安の2,153円（同41円安）、同A2は204円安の1,953円（同147円安）。

交雑牛もB4が24円高の1,767円（同36円安）、B3は6円安の1,609円（同72円安）、同B2は6円高の1,476円（同71円安）といずれも前年実績を下回った。

一方、乳去勢は高騰が続く輸入牛肉の代替需要で乳去勢は手当てが集中しており、B2が3円安の1,130円（45円高）と前月に続き1,100円を超えた。

小売りは消費者の生活防衛意識が高まりから、高単価品の不信感が顕著。父の日の販促は手当てが入ったものの、前年までの巣ごもり需要の反応もあり売上は前年割れ。外食は社用接待が再開されたこと、宴会も少しずつ動いていることでホテル需要も上向いたが、ヒレは乳去勢に引き合いが集中し、在庫が足りずモノを確保するのに苦心している。輸入牛肉の現地高と供給減も影響している。「輸入牛肉で利幅を確保する従来の販売手法が厳しきなり、和牛や交雑種の販促を打ちづらい状況が続いている。」（バイヤー）。外国人観光客の入国が再開されたことが好材料ではあるが、見込みで仕入れるほどの需要でもなく、模様眺めといったところ。輸出は好調に推移し、ロースは海外市場頼みになっている。

以上のことから上げ材料は少なく、梅雨明けで焼き材中心に回復しても、高単価品は動きが鈍く小幅な値動きにとどまるか。和牛A5で2,650～2,700円、同A4で2,400円前後、同A3で2,200円。交雑種は去勢B3で1,500～1,550円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌7月号 抜粋）